

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08119000 A**

(43) Date of publication of application: **14.05.96**

(51) Int. Cl.

B60K 37/00

(21) Application number: **06260390**

(71) Applicant: **DAIHATSU MOTOR CO LTD**

(22) Date of filing: **25.10.94**

(72) Inventor: **KIMURA SUSUMU**

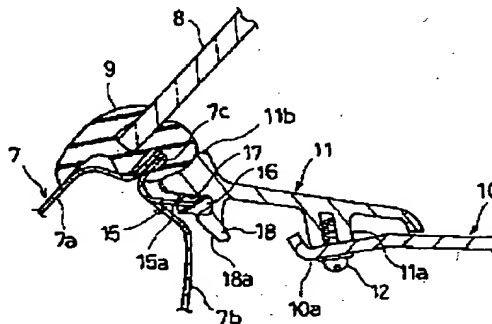
**(54) MOUNTING STRUCTURE OF INSTRUMENT
PANEL FOR VEHICLE**

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide the mounting structure of an instrument panel for vehicle which permits a garnish to be set at a prescribed position easily and completely even if any dispersion occurs at the time of assembling.

CONSTITUTION: In mounting an instrument panel 10 extending in the vehicle width direction onto a vehicle body panel 7 disposed in front of the panel 10 through a garnish 11, a supporting part 15 is formed at a vehicle body panel 7. At the front end part 11b of the garnish 11, a supporting recessed part 17 fitted onto the supporting part 15 and a guide part 18 for guiding the supporting recessed part 17 at the time of assembling are formed.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



THIS PAGE BLANK (US-15)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-119000

(43) 公開日 平成8年(1996)5月14日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 0 K 37/00

識別記号

庁内整理番号

C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-260390

(22) 出願日 平成6年(1994)10月25日

(71) 出願人 000002967

ダイハツ工業株式会社

大阪府池田市ダイハツ町1番1号

(72) 発明者 木村 享

大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内

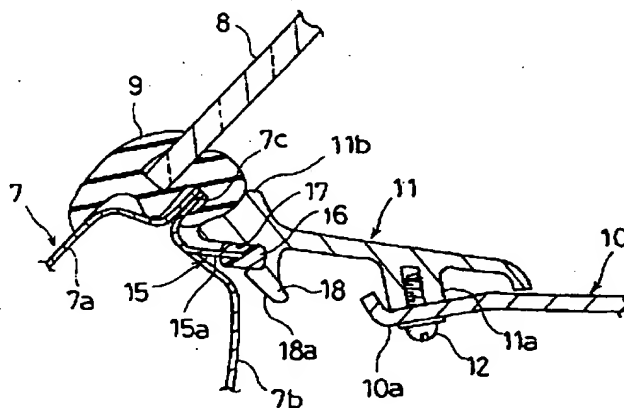
(74) 代理人 弁理士 下市 努

(54) 【発明の名称】 車両用インストルメントパネルの取付け構造

(57) 【要約】

【目的】 組付け時のばらつきが生じてもガーニッシュを容易にかつ確実に所定位置にセッティングできる車両用インストルメントパネルの取付け構造を提供する。

【構成】 車幅方向に延びるインストルメントパネル10を、該パネル10の前方に配設された車体パネル7にガーニッシュ11を介在させて取付ける場合に、上記車体パネル7に支持部15を形成し、上記ガーニッシュ11の前端部11bに、上記支持部15に嵌合装着される支持凹部17と、組付け時に上記被支持凹部17を嵌合位置に案内するガイド部18とを形成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車幅方向に延びるインストルメントパネルを、該パネルの前方に配設された車体パネルにガーニッシュを介在させて取付けるようにした車両用インストルメントパネルの取付け構造において、上記車体パネルに支持部を形成し、上記ガーニッシュの前端部に、上記支持部に嵌合装着される被支持凹部と、組付け時に上記被支持凹部を上記支持部との嵌合位置に案内するガイド部とを形成したことを特徴とする車両用インストルメントパネルの取付け構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動車のインストルメントパネルをガーニッシュを介在させて車体パネルに組付ける際の作業性を改善できるようにした取付け構造に関する。

【0002】

【従来の技術】自動車の運転席前方には各種のメータ、スイッチ、ラジオ等を保持するインストルメントパネルが配設されている。このインストルメントパネルはフロントガラスの下縁を支持するカウルトップパネルに取付けるのが一般的である。

【0003】また、自動車部品においてはコストの低減を図る目的からできるだけ部品を共通化するようにしており、上記インストルメントパネルにおいても複数の車種間で共用することが要請されている。ところが、インストルメントパネルのサイズは車種によって異なるのが一般的であり、このような場合の共用化を図る方法として、従来、図4及び図5に示すように、インストルメントパネル20とカウルトップパネル22との間にガーニッシュ21、又は24を介在させるようにしている。このガーニッシュ21、24のサイズを車種に応じて選択することにより、インストルメントパネル20自体の共用化が可能となる。

【0004】図4に示す従来構造は、インストルメントパネル20の前縁部にガーニッシュ21を重ね合わせてビス止めし、該ガーニッシュ21の前端部21aをカウルトップパネル22にボルト23で締め付け固定した構造である。また図5に示す従来構造は、ガーニッシュ24の前端部下面に突起部24aを一体形成し、該突起部24aをカウルトップパネル22の挿入孔22aに差し込んで固定した構造である。なお、上記カウルトップパネル22のボルト23、突起部24aの挿入孔22aはインストルメントパネルの取付け孔を流用するようにしている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記従来の取付け構造では、ガーニッシュ21、24のボルト挿入孔、又は突起部24aと車体側パネルの挿入孔との位置合わせ作業に手間がかかり、作業性が低いという問題

がある。特に車体側パネルへの取付け箇所が複数の場合、上記位置合わせは困難である。

【0006】また上記従来のボルト締め固定する構造の場合は、該ボルト頭部が室内やフロントガラスを通して室外から見えるため見栄えが悪化するという問題がある。この場合、ボルトカバーを追加することも考えられるが、部品点数、組付け工数が増加するという問題が生じる。

【0007】本発明は、上記従来の状況に鑑みてなされたもので、組付け作業性を向上できるとともに、別部品を追加することなく見栄えの悪化を回避できる車両用インストルメントパネルの取付け構造を提供することを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、車幅方向に延びるインストルメントパネルを、該パネルの前方に配設された車体パネルにガーニッシュを介在させて取付けるようにした車両用インストルメントパネルの取付け構造において、上記車体パネルに支持部を形成し、上記ガーニッシュの前端部に、上記支持部に嵌合装着される被支持凹部と、組付け時に上記被支持凹部を上記支持部との嵌合位置に案内するガイド部とを形成したことを特徴としている。

【0009】

【作用】本発明の取付け構造において、インストルメントパネルを車体パネルに取付けるには、まずインストルメントパネルに固定されたガーニッシュの被支持凹部を車体パネルの支持部に嵌合装着する。このとき上記ガーニッシュが支持部に乗り上げた場合には、ガーニッシュを上方から押し込むことによりガイド部が被支持凹部を嵌合位置に案内することとなり、被支持凹部は支持部に容易に嵌合する。

【0010】このように本発明の取付け構造によれば、ガーニッシュに被支持凹部を形成するとともにガイド部を形成し、該被支持凹部を車体パネルの支持部に嵌合装着するようにしたので、車体パネルにインストルメントパネルを容易にかつ確実に組付けることができ、従来のボルトや突起部を挿入する場合の位置合わせを不要にでき、作業性を向上できる。

【0011】また、ボルトによる取付けを不要にできるので、該ボルト頭部が外方から見えることはなく、カバーを追加することなく見栄えの悪化を回避できる。

【0012】

【実施例】以下、本発明の実施例を添付図面に基づいて説明する。図1ないし図3は、本発明の一実施例による車両用インストルメントパネルの取付け構造を説明するための図であり、図1は本実施例の取付け構造を示す断面側面図、図2はその組付け工程を示す断面図、図3は上記実施例構造が適用された自動車の斜視図である。

【0013】図において、1は本実施例構造が適用され

た自動車の車体であり、これはドア2が配設された左右のサイドパネル3の上端部間にルーフパネル4を接続し、該左右サイドパネル3の前端部に車体前後方向に延びるフロントフェンダパネル5の後端部を接続するとともに、該フェンダパネル5の上部にフード6を開閉自在に配設した概略構造のものである。

【0014】上記サイドパネル3の前端間には車幅方向に延びるカウルトップパネル7が接続されており、この両パネル3、7及び上記ルーフパネル4とで形成された前面開口にはフロントガラス8が配設されている。また上記カウルトップパネル7の下面にはエンジンルームと車室とを区分けするダッシュパネル（図示せず）が接続されている。

【0015】上記カウルトップパネル7はアウトパネル7aとインナパネル7bとからなり、該両パネル7a、7bのフランジ部7c同士がスポット溶接により接合されている。このフランジ部7cには上記フロントガラス8の下縁部を挟持するウエザストリップ9が装着されている。

【0016】上記車室内の運転席前方には、車幅方向に延び、かつ側面視で大略コ字状のインストルメントパネル10が配設されており、該パネル10は鉄板の外表面にウレタンパッドを貼設したもので、該インストルメントパネル10には図示しない各種メータ、スイッチ、ラジオ等が装着されており、また空調用吹き出し口等が形成されている。

【0017】上記インストルメントパネル10の下縁部は図示しないブラケット等を介して上記ダッシュパネルに取付けられており、該インストルメントパネル10の上縁部10aは後述するガーニッシュ11を介在させて上記カウルトップパネル7に取付けられている。

【0018】上記カウルトップパネル7のインナパネル7bにはこれの長手方向に間隔をあけて複数の支持片15aが略水平をなすように切り起こして形成されており、該支持片15aには直方体状の樹脂部材16が接着固定されている。この樹脂部材16と上記支持片15aとでインストルメントパネル用支持部15が構成されている。

【0019】上記ガーニッシュ11は上記インストルメントパネル10とカウルトップパネル7との隙間を埋める大きさ、形状に射出成形された樹脂製のもので、これの後部下面には取付けボス部11aが突出形成されている。この取付けボス部11aの下面にはインストルメントパネル10の上縁部10aが位置しており、該上縁部10aはこれの下側から螺着されたビス12により締め付け固定されている。また上記ガーニッシュ11の前端部11bは上記ウエザストリップ9に沿って当接するように湾曲形成されており、これによりウエザストリップ9の車内側部分、ガーニッシュ11、インストルメントパネル10は略連続面をなしており、隙間による見栄え

の悪化を回避している。

【0020】上記ガーニッシュ11の前端部11bには車幅方向に延び、かつ前方に開口する被支持凹部17が形成されており、該被支持凹部17は上記樹脂部材16に嵌合装着されている。またこの被支持凹部17の下縁にはガイド部18が一体形成されている。このガイド部18は上記被支持凹部17に続いて下部後方に傾斜して延びるガイド面18aを有している。

【0021】次に本実施例の作用効果について説明する。本実施例のインストルメントパネル10を車体に取り付けるには、インストルメントパネル10にガーニッシュ11をビス止め固定し、該ガーニッシュ11の被支持凹部17を支持片15aの樹脂部材16に嵌装する。ここで、カウルトップパネル7、インストルメントパネル10等の寸法上のばらつきに起因して、ガーニッシュ11の全ての被支持凹部17を同時に嵌装できない場合があり、このような場合にはガーニッシュ11が上記樹脂部材16上に乗り上げることとなる。このような場合は、ガーニッシュ11を上方から押し込むか、もしくは軽く叩くことにより、ガイド部18のガイド面18aが被支持凹部17を嵌合位置に案内し、その結果、被支持凹部17が樹脂部材16に自動的に嵌合することとなる。

【0022】このように本実施例構造によれば、カウルトップパネル7に切り起こして形成された支持片15aに樹脂部材16を装置することにより支持部15を形成し、ガーニッシュ11に上記樹脂部材16に嵌合装着される被支持凹部17を形成するとともにガイド部18を形成したので、寸法上のばらつきが生じても容易にかつ確実にガーニッシュ11を所定位置にセッティングすることができ、従来のガーニッシュの突起部を同時に差し込む場合のような位置合わせを不要にでき、作業性を向上できる。

【0023】また、本実施例では、ガーニッシュ11のカウルトップパネル7との嵌合部、及びインストルメントパネル10との結合部はガーニッシュ11自体により覆われていることから、また従来のような結合用ボルトは不要であることからカバー等の別部品を追加することなく見栄えの悪化を回避できる。

【0024】なお、本実施例では、インストルメントパネルをガーニッシュを介在させてカウルトップパネルに取り付ける場合について説明したが、本発明の取付け構造は、インストルメントパネルをガーニッシュを介在させることなく車体パネルに取り付ける場合にも応用できる。この場合にはインストルメントパネルの前端部に被支持凹部、及びガイド部を形成し、該被支持凹部を車体パネルの支持部に嵌合装着することとなる。このような場合においても組付け時の位置合わせを不要にでき、作業性の向上を図ることができる。

【0025】

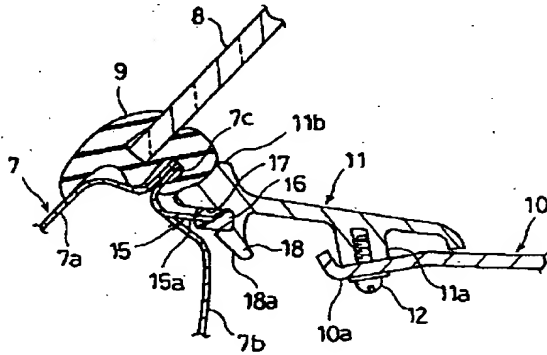
5

【発明の効果】以上のように本発明に係る車両用インストルメントパネルの取付け構造によれば、車体パネルに支持部を形成し、ガーニッシュに上記支持部に嵌合装着される被支持凹部を形成するとともに、組付け時に上記被支持凹部を嵌合位置に案内するガイド部を形成したので、車体パネル、インストルメントパネルに寸法上のばらつきがあっても容易にかつ確実にインストルメントパネルを取り付けることができ、作業性を向上できる効果があり、またカバー部材を追加することなく見栄えの悪化を回避できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例による車両用インストルメントパネルの取付け構造を説明するための断面側面図である。

【図1】



6

【図2】上記実施例構造の取付け工程を示す断面図である。

【図3】上記実施例構造が適用された車体の斜視図である。

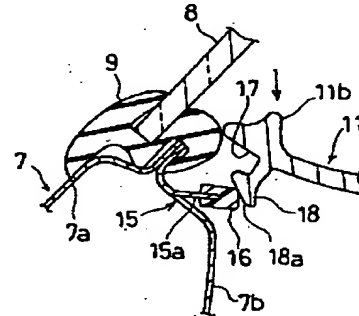
【図4】従来の取付け構造を示す断面図である。

【図5】従来の他の取付け構造を示す断面図である。

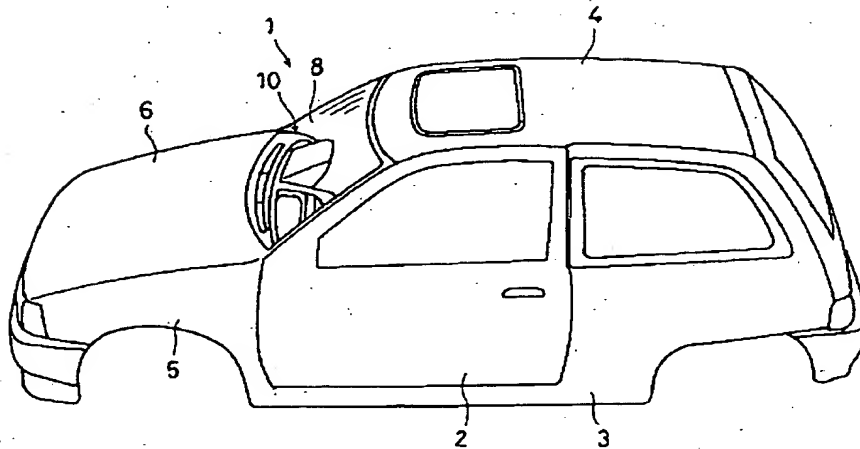
【符号の説明】

- | | |
|----|------------------|
| 7 | カウルトップパネル（車体パネル） |
| 10 | インストルメントパネル |
| 11 | ガーニッシュ |
| 15 | 支持部 |
| 17 | 被支持凹部 |
| 18 | ガイド部 |

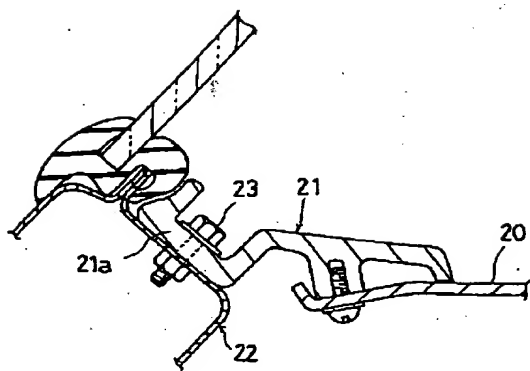
【図2】



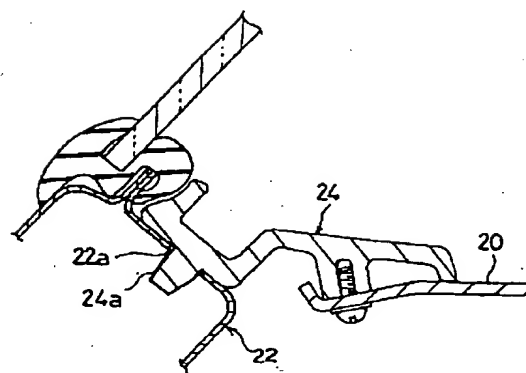
【図3】



【図4】



【図5】



THIS PAGE BLANK (USPTO)